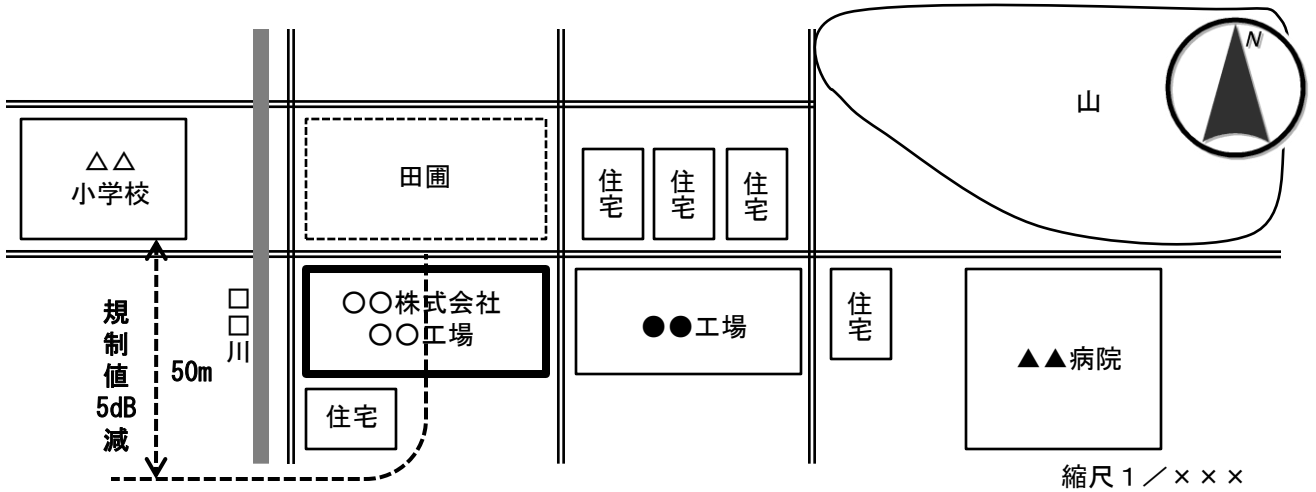
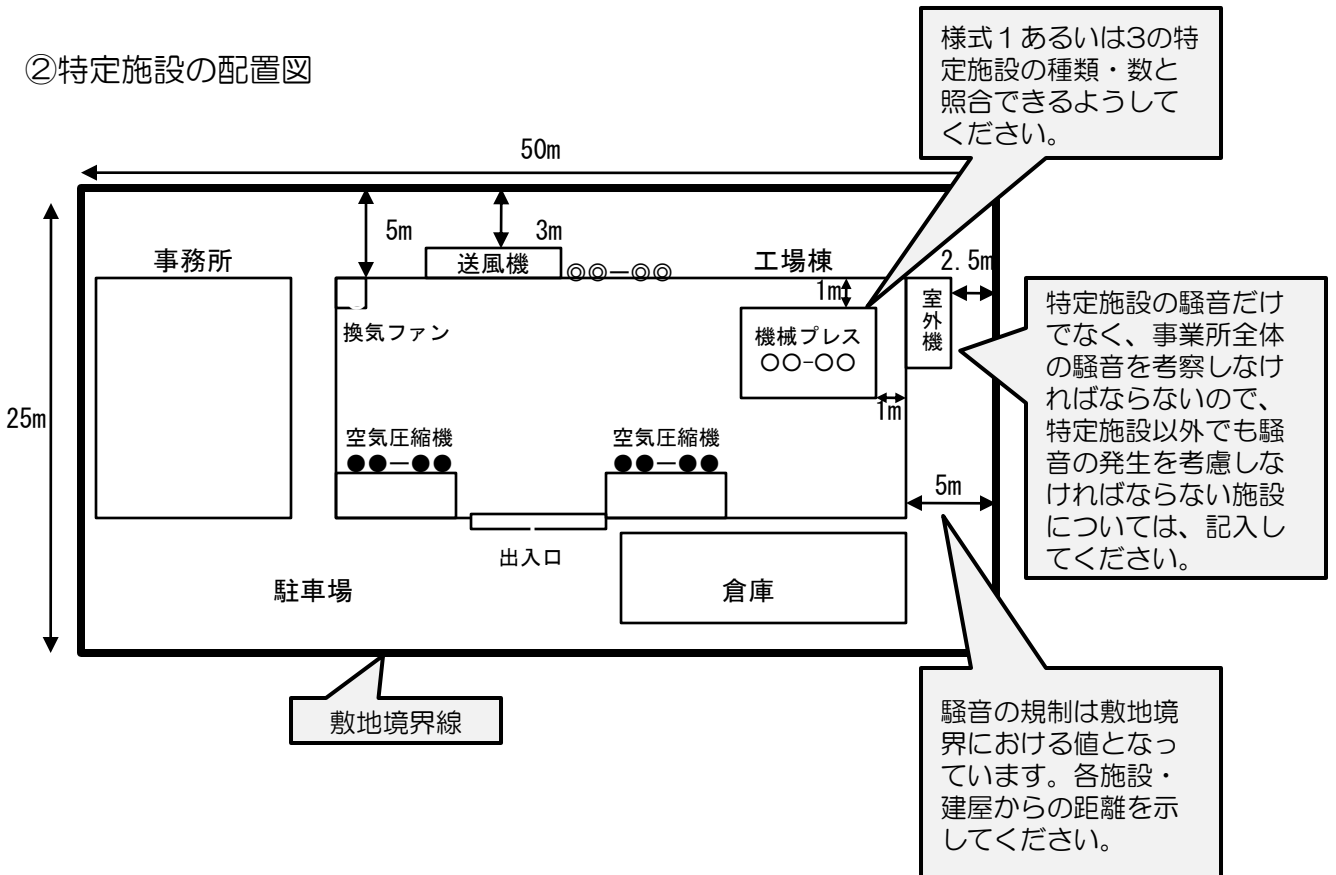


①特定工場等、およびその付近の見取図

※隣接する建物等の利用状況および距離が把握できるもの



②特定施設の配置図

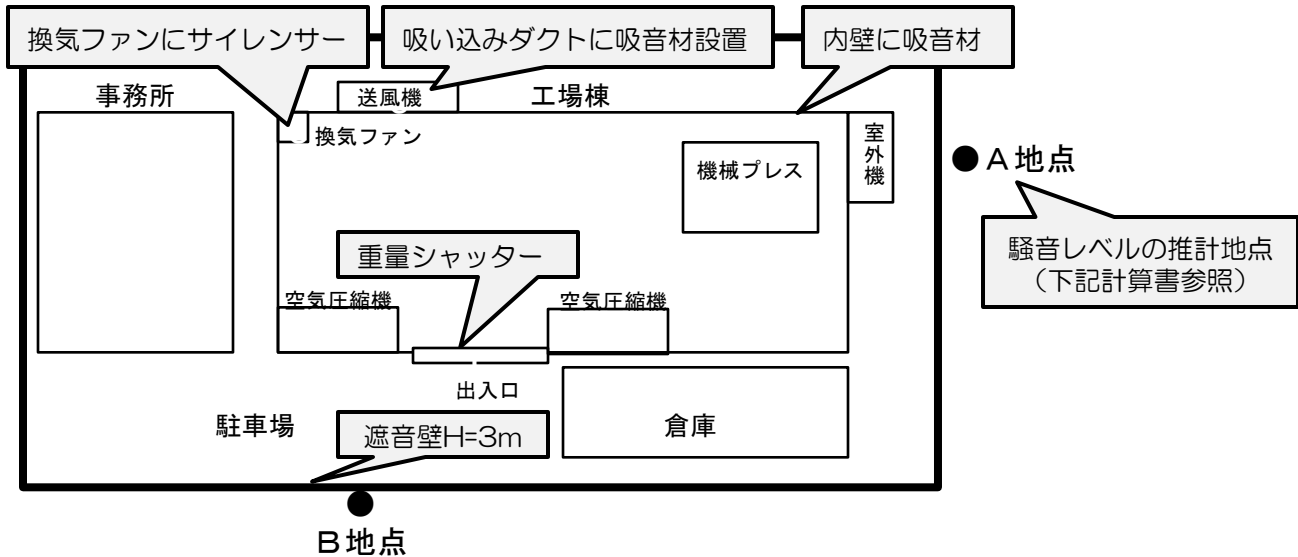


《記入例》

③騒音の防止の方法

※騒音計算書

※機械の構造・型式・公称能力・基準騒音レベルが把握できるカタログ等のコピー



	材質	厚さ(mm)
壁(外)	コンクリートブロック+モルタル	150+15
壁(内)	石膏ボード+グラスウール	25+15
屋根(内)	石膏ボード+グラスウール	25+15
屋根(外)	波形スレート	65
窓	アルミサッシ	50
扉	重量スチールシャッター	16
遮音壁(3m)	コンクリートブロック+モルタル	150+15

- 敷地境界に高さ3mの遮音壁を設置した。
- 工場の構造は上記のとおりとし、遮音・吸音対策とした。
- 開口部の開閉は短時間とし、搬出入等の作業音は極力抑える。
- 敷地境界における騒音レベルの推計値は下記のとおりである。
- 設置する機械には全て防振ゴムを装着した。

騒音レベル推計値 (A地点)

基準騒音 dB (測定ポイント: 正面1m, 高さ1.5m) (カタログ値)

距離減衰

$$L_2 = L_1 - 20 \times \log(d_2/d_1)$$

d_1 : 基準騒音の距離 (m)

d_2 : 敷地境界までの距離 (m)

L_1 : 基準騒音 (dB)

L_2 : 敷地境界線上での音圧レベル (dB)

デシベルの和 $X = 10 \times \log(10^{L_1/10} + 10^{L_2/10})$

規制基準 (第3種区域)

時間帯	朝	昼	夕	夜
規制値(dB)	60	65	65	55

騒音レベル推計値 (B地点)

⋮

表A

	機械プレス△△	室外機	合成
①基準騒音(dB)	60.0	50.0	
②壁補正(dB)	5.0	0.0	
d1(m)	1.0	1.0	
d2(m)	6.0	2.5	
L1(dB) <①-②>	55.0	50.0	
L2(dB)	39.4	42.0	43.9

壁による減衰値

カタログ値

これらの他、施設や防音施設のカタログ、性能表等を添付してください。

A地点における騒音予測値